

二十年ぶりの上池台

令和元年10月もみじ号に高橋由希子さんの「七年ぶりの上池台」の記事が載っていましたが、私にとっては二十年ぶりの上池台になります。

私は、母の実家の近くにある都立荏原病院（当時）で、平成十一年九月に生まれました。

子どものころは、幼稚園の前は玉川上水、小学校の前は農園、時にはタヌキに会う縁豊かな小平で育ちました。

上池台では、小池自治会の皆さんとご一緒に、スキー・潮干狩り・こどもガーデンパーティー・夏祭りと多くの行事に参加させて貰いました。こちらに来る時は、母はジュニアリーダー時代のお仲間と会えるのが私以上に楽しみで、お祭りの夜は私たち姉・妹・弟を祖母に預け何処かに？出掛けっていました。そのお友達とは今もバーベキューを楽しむ仲良しです。

私たち三姉妹は小・中学校時代は吹奏楽部（小池小学校の吹奏楽部と同じ公会堂の演奏会で一緒にになったこともあります）に入っていましたので、上池台にも足が遠のいていましたが、この4月に社会人になり子どもの頃からの夢がない、製パン会社に入社いたしました。名古屋に本社が在る会社で、4月1日の入社式と同期70名一緒に研修を楽しみにしていたのですが、このコロナウィルス騒ぎで全て中止になり、即日大森に在る職場に配属となりました。

製パン会社の朝は早く、早番の時は7時前に職場に入らなくてはならないので小平の家からの通勤は無理で、母の実家に住民票を移し通勤しています。会社は全国に展開中で今後何処の職場に転勤になるか不明で何時まで上池台にいるかわかりませんが、仕事が慣れた休日には幼少期に遊んだ釣り堀公園（小池公園）・カメさん公園（洗足池公園）に足を延ばし幼いころを想い出したいと思っております。

（小池・角間りおな）

マイ・タイムラインを作りましょう

風水害で犠牲になった方の多くは逃げ遅れたことによるものです。「危ない」と感じたときはすでに手遅れ、これが風水害の恐ろしいところです。そうならないようにマイ・タイムラインを作りましょう。

マイ・タイムラインとは、風水害時のひとりひとりの避難行動計画です。

- (1) ハザードマップでご自宅の周辺がどのくらいの洪水の危険があるか確認しましょう。必要ならば、公的施設の他、親戚・知人宅も含めた避難場所を検討しましょう。
- (2) 注意報・警報・河川の水位情報などに連絡付けて、避難を準備・実行する行動計画を立てましょう。高齢・病気の方は早めの準備・避難が必要です。
- (3) 風水害に連絡する情報があったときは、無駄になることを恐れずマイ・タイムラインに従って行動しましょう。

「マイ・タイムライン」講習会を受講しました

初めに、「マイ・タイムライン」講習会は、「風水害」から命を守るために「自分の避難計画」を作ろう！という講習会です。

（この投稿が掲載される頃には、「ゲリラ豪雨」や「台風」のシーズンは過ぎ去っているのかもしれません、いざという時にそなえて「自分と家族の避難計画」を作つておくことが重要です。）

自身は、大田区立大森第十中学校防災活動拠点のメンバーです。新「ハザードマップ風水害編」によると、上池台自治会内は、場所によっては「1m～3mの浸水」が予測されているので、地震等とは違った日頃の備えと早めの避難が求められます。

新型コロナウィルス感染症の流行という中で、避難所の運営も大きく変わります。避難所の避難者の定員は、従来の人数よりも大幅に減るものと予測されます。また、大森第十中学校も2階以上の使用条件で避難場所となりました。



近隣の高台に、ご親戚やお知り合いがいらっしゃる方は、事前にご相談されて一時避難をさせていただく、マンションであれば上階にお住まいの方にご相談をされる等準備が必要かもしれません。

ともあれ、学校、行政とも綿密に連携して活動を進めることが重要です。

（上池台・長谷川 則夫）

お詫びと訂正
「ふれあい雪谷」令和2年7月あさがお号（第119号）について、誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

訂正箇所 「花が咲きました」15行目
誤：花房 正：花芽

＊＊編集後記＊＊

世の中は新型コロナウィルスの話題ばかりです。感染防止のため不要・不必要な外出は自粛、でも経済を回さないと、ところでワクチンの実用化はいつ？…こんな状態が続く中、ふれあい雪谷もみじ号が発行されました。

今号はコロナの文字があふれるのでは、と案じておりましたが、投稿していただいた記事にコロナを題材にしたものは一つもありませんでした。何気なしに手に取って読んでみたら何となく気が晴れた、そんな今号であればと願っております。

（南雪谷・河野 洋一郎）

[編集委員]

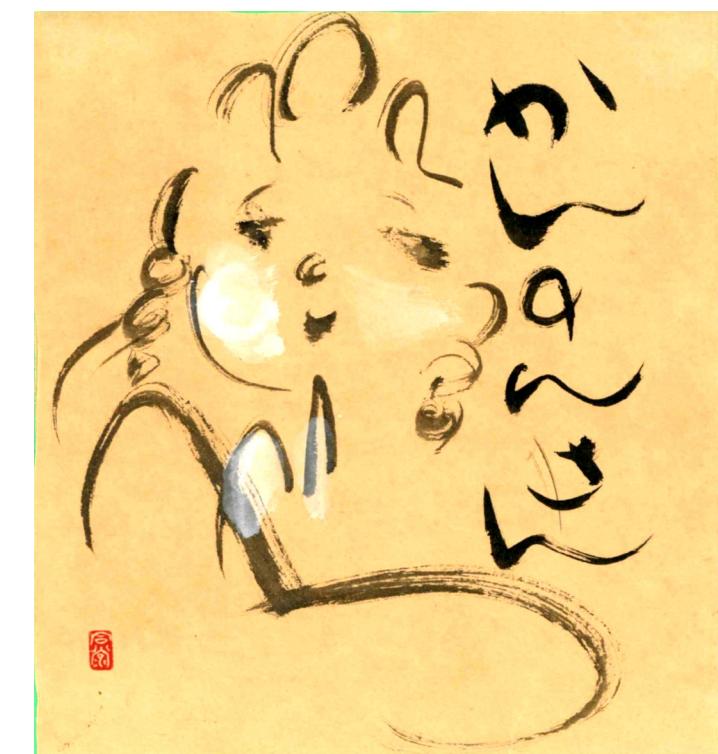
笹丸・小久保 衡子／雪谷石川台・倉田 清子／南雪谷・河野 洋一郎／東雪谷東中・秋山 一雄／池の台・柏 三八子／小池・原 龍興／上池台・船山 康夫

ふれあい雪谷（創刊：平成2年12月20日）年4回発行
(1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号／の1日発行)
[発行日] 令和2年 もみじ号 10月1日(通巻・第120号) 発行
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集] ふれあい雪谷編集委員会
[連絡先] 大田区地域力推進部雪谷特別出張所
〒145-0065 大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

地域情報紙

ふれあい
雪谷

令和2年10月 もみじ号 通巻第120号



～いのち健やかに～
池の台・柏 三八子

「ふれあい雪谷」のホームページは
こちらからご覧いただけます。



ふるさと佐渡

みなさまこんにちは、私は笹丸の中華料理店のおばあちゃんです。日頃は何かとお世話になっています。私のふるさとは新潟県の佐渡です。

新潟からカーフェリーで2時間30分、高速船ジェットフォイルで1時間で佐渡は両津に着きます。両津湾と繋がっている加茂湖はカキの養殖場にもなっています。島の大きさは、東京23区の1.5倍です。島の北西の大佐渡山地と南東の小佐渡山地の中央に国仲平野が広がり、稲作も盛んです。大佐渡山地の一番高い金北山(きんぽくさん)は、1,172メートルの佐渡を代表する山です。

佐渡と言えば佐渡金山が有名ですが、江戸時代から約400年に渡り掘り出された金の量は78トンと他に例を見ない、まさに宝の島であったといえましょう。また、歴史の島ともいわれ、佐渡に流された順徳上皇(1221年配流)や日蓮上人(1291年配流)、世阿弥(1434年配流)などの高貴な方々の影響で一つの文化が築かれたようです。お能の舞台が今も多数残っているのもうなづける気がします。

優雅でしなやかに踊る「佐渡おけさ」、そして、力強い太鼓に合わせて村の一軒一軒を回り勇ましく激しい舞を見せる「鬼太鼓」(おんでこ)、毎年4月は楽しみでした。近年は新穂(にいほ)の「トキの里」や小木(おぎ)の太鼓グループ「鼓童」(こどう)でも知られるところです。

交通の便も年々良くなり、会社・スーパー・各種店舗なども増えて生活も便利になっています。実家の裏には田園が広がりゆうゆうとそびえたつ金北山は今も昔も変わらず安心感さえ覚えます。そんな景色の中で子供時代は友と袋にいっぱいの山菜採り、農作業をする両親や祖母の近くで第二人と自然相手に遊んだ日々、昼間でも気味悪かった通学路など、今は年を重ねるごとに懐かしく思い出されます。

「ふるさとは遠きにありて想うもの」、この句は、まさに今の私の気持ちそのままです。笹丸に住んで50年近くなり、私も三人の孫のおばあちゃんになりました。現在、店は息子夫婦が中心となり、私も及ばずながらお手伝いをしています。お蔭様で店は昨年秋で創業50年、主人は来年80歳ですが、店を愛する思いは強く頑張っています。私はこれからも家族と共にこの笹丸の地で生きてまいります。

(笹丸・庄子 悅子)



火災から命を守る住警器

私は、20年以上前にその時の上司から、「アメリカでは住宅用の火災警報器(以下住警器)が全住宅に設置されて火災による死者が半減した。日本にも必要だ。」と言われ調べてみると、その頃のアメリカで住警器の設置率が90%以上となり死者も半減したという資料を見つけました。

それから10数年後、平成21年に東京都の条例で住警器の設置が義務化され、多くの住宅に設置されることとなりました。更に10年以上が経過した今どう変わったか。都内の住警器の設置率は6~7割で死者は減少したもののが現実です。

実際に住宅火災で亡くなった方の部屋には住警器が設置されていないことが非常に多いのです。もし、住警器で火災をもっと早く知ることができれば、避難できたのではないかと思う現場に、私も度々出くわしました。

義務化された当時は住警器1個の金額もかなり高額で、家の各部屋に付けたら数万円になってしまふこともあり、台所にのみ設置して済ませてしまう家も多くありました。もちろん火を使う台所は必須ですが、実は命を守るために寝室はもっと必要なのです。

深夜、寝入っている時に火災をいち早く知らせてくれるのは住警器です。寝ていて火災に気づかなければ、一酸化炭素中毒や火炎に煽られ、最悪死に至ってしまいます。しかし、住警器が作動すれば命だけは助かる可能性が高くなります。

住警器は消耗品ですので、10年経過すると電池切れになります。感知機能が低下したりすると言われており、10年で交換することが推奨されています。現在設置されている多くの家ではちょうど10年を迎えてることだと思います。

今、インターネット通販サイトでは、国産メーカーの品でも1個1,500円前後で売られており、10年前の半額以下です。

命を守る住警器、ついていなければ各部屋に設置してください。ついている家も10年経ったら交換してください。大切なご家族のためにも、ご自身のためにも。

(田園調布消防署長・宮川 克広)

国勢調査は今年で100年を迎えました

国勢調査は、日本に居住するすべての方と世帯を対象に5年に1回実施する国の重要な統計調査です。この調査で得られた情報は、私たちのよりよい生活のために活用されます。インターネットまたは調査票の郵送で回答をお願いします。

回答期限 令和2年10月7日(水)

皆様のご理解とご協力を願っています。



子供の成長が花ひらく さくら満開のように

さくらさくみらい石川台園が、この雪谷地区に開園して6年目を迎えます。

雪国育ちの私にとって、東京という大都会に勤務する事に少し戻込みをしていましたが、この雪谷地区に勤務する事になり、地域の方々の温かさにふれ、安心感と共に優しさに感謝する日々を過ごしております。

地域活動も大変盛んで、夏には商店街での盆踊り、秋には雪ヶ谷八幡神社のお神輿など、地域で大切に受け継がれているお祭りにふれあう機会が多く、子どもたちにとって、とてもよい経験になっています。

園では、毎年お正月の頃になると、地域の婦人会の方々をお招きして伝承遊びを行っています。普段、なかなか遊び機会のない羽子板、お手玉、こま回し、折り紙等、一緒に笑顔で遊ぶ姿は大変微笑ましく嬉しい思いでいっぱいです。中でも、羽子板は汗を流しながら羽をつき、行列が絶えないくらいの盛況ぶりです。

散歩の際も、子どもたちに行く先々で声を掛けて下さり、挨拶の大切さも自然に身についているように感じます。安心して散歩に出かけられるのも地域の皆様が見守ってくださっているからこそだと、感謝しております。

地域の方々の温かいまなざしの中、子どもたちの成長を想いながら、今後も園名のように、さくらさく笑顔がこの雪谷地区いっぱいに満開になりますよう願っております。

(さくらさくみらい石川台園長・吉田 広美)

フレイル予防 その②

バランスよく食べて免疫力を高めましょう。下の10食品群から1群で1点として、1日7点以上が目安です。

- | | |
|----------|--------|
| ①肉 | ⑥緑黄色野菜 |
| ②魚介類 | ⑦海藻類 |
| ③卵 | ⑧いも |
| ④大豆・大豆製品 | ⑨果物 |
| ⑤牛乳・乳製品 | ⑩油 |

